

函館市小学校体育研究会

1. 研究構造について

< 函館支部 研究主題 >

運動に魅力を感じ、自ら学び、高め合う体育活動の創造
～生涯スポーツを目指したカリキュラムの実践を通して～

< 目指す子ども像 >

「かかわりの中で主体的に運動に取り組む子」
運動に夢中になって取り組む子 仲間と学び合い伝え合う子 運動課題の解決を目指して努力する子

< 具現化に向けて >

- 子どもの発達段階や運動の様相を踏まえたカリキュラムの実践・検証・改善
- 系統的な「学び方」の指導→グループ学習を中核とした学習展開
- 学びを支える授業づくり→学習資料の提示、子どもの実態に応じた場の設定、自己評価と相互評価

< 今年度の重点活動 >

- ① 『グループ学習』を中核にした『チーム学習』の研究
- ② 中学校との連携

2. 今年度の重点活動報告

(1) 授業実践報告～北海道教育大学附属函館小学校：福山教諭 4年生『ティーボール』授業 < 事後検討会より（主なものを抜粋） >

- 学習用具の工夫がよかった。身近にあるもので、たくさんティーを作っていたのが、子どもたちのベースボールを楽しむ時間の確保につながっていた。
- 子どもたちは、最初は3分の1の子が「きれい」と答えていたが、打つことに楽しさを見出だすことができるようになり、運動を「好き」になる子が増えた。
- 子どもたちの話し合いがよかった。普段からの積み上げを感じた。
- 2点、3点が取れるような「駆け引き」のある設定にしてもよかったのではないかと。1点を取るのも大変なゲームであった。
- 守備の方で、打者に合わせた守備位置の工夫などが見られると、思考・判断面も育てることが出来る授業になったのではないかと。

(2) 小中連携事業

- 授業交流『バレーボール』
小学校：東山小学校4年生 中学校：深堀中学校1年生
- 実技研修会の開催

(3) 『チーム学習』の提案に向けて

- チーム学習 = 函館の体育（グループ学習を中核とした体育授業実践）+ α
- α = 子どもが自ら学びをデザインする授業形態
- チーム = 目的を共有する学びの集団

